

# 歯内療法における 臨床思考の技術

▼詳しい情報はこちら

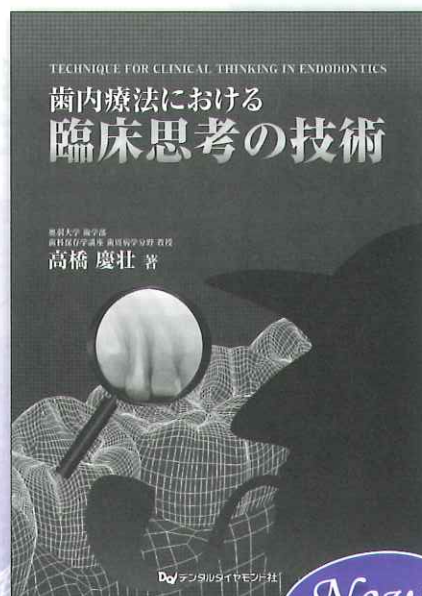


【著】高橋慶壮 (奥羽大学教授)

## 歯内療法は、謎解き・ミステリー

日常臨床で歯内療法は避けて通れない。しかし、失敗が多いのも事実。失敗の原因は、手技の研鑽不足以外に「未知」、「無知」、「不注意」、「誤判断」、「手順の不遵守」、「調査・検討の不足」である。本書では失敗の少ない医療を実践する為に、謎解きの手法＝「臨床思考(臨床推論)」の方法論を丁寧に解説。後半では、症例を交え解説を行っている。「どんな手を打つか?」日常臨床でよりよく考えるための実践方法を本書の中からつかんでほしい。

A4判・180頁・オールカラー 本体12,000円＋税



New

## CONTENTS

### 第I章 現代歯内療法学における基本概念

- 1 現代歯内療法学のスタート
- 2 歯内療法(歯科臨床)を理解するためのキーワード 他

### 第II章 歯内療法における「不確実性」と「リスク評価」

- 1 治療における「リスク」と「不確実性」
- 2 歯内療法におけるリスク評価とリスク管理 他

### 第III章 臨床思考(臨床推論)

- 1 臨床推論は理論を構築するための不可欠のスキル
- 2 三大推論—演繹、帰納およびアブダクション 他

### 第IV章 初診時診査

- 1 初診時診査の要点
- 2 診査—患者理解のスタート:医療面接 他

### 第V章 診断

- 1 オッカムのかみそりとヒツカムの格言
- 2 診断の不確実性 他

### 第VI章 症例に見る病態の理解と治療の実際

- 【症例VI-1】  
歯周・歯内複合病変  
—不良な根管治療と穿孔が原因となった症例
- 【症例VI-2】  
根管拡大と根管充填が不十分なため  
10歯の再根管治療を行った症例 他

### 第VII章 考える臨床 = 臨床思考の提案

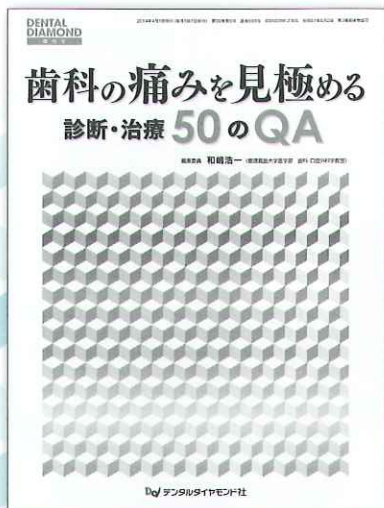
- 1 常に原因追究に基づいた診断と治療の実践を
- 2 Morton Amsterdamの名言 他

# 歯科の痛みを見極める 診断・治療 50のQA

DENTAL  
DIAMOND

増刊号

【編集委員】和嶋浩一（慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科教室）



## 複雑化する「痛み」を知り、 さまざまな治療法を身につける

患者が訴える痛みを正しく見極め、患者が不安なく治療を受け入れるための方策を身につけることは、患者との信頼関係を築くうえでたいへん重要なことである。歯痛と非歯原性疼痛の鑑別のポイントや、治療困難な痛みへの対応等について、QA形式でわかりやすく解説。歯科で対応すべき「痛み」を診る目を養うための一助となる一冊。



A4判変型・156頁・オールカラー 本体5,000円+税

[詳しい情報はこちら](#)

### Contents

#### ◆序章

- 1 歯科における痛みの見方 和嶋浩一  
2 「臨床診断推論」入門 和嶋浩一

#### ◆第I章 歯痛 鑑別診断のポイント

- 3 根管治療後も続く歯痛① 石井 宏  
4 根管治療後も続く歯痛② 宮下裕志  
5 エンド後歯痛の疫学 宮下裕志

#### ◆第II章 非歯原性疼痛 鑑別のポイント

- 18 無痛な口腔がんの早期発見 助生田整治  
19 三叉神経痛、舌咽神経痛(Firstbite)の鑑別ポイント 和嶋浩一  
20 顔面片頭痛、片側頭痛、群発頭痛 大久保昌和

#### ◆第III章 治療困難な痛みへの対応

- 24 歯冠修復後の不快症状 黒川弘康・宮崎真至  
25 抜髄後の不快症状 石井隆資  
26 根管治療後の頑固な打診痛 三橋 晃  
27 咬合異和感が消えない 玉置勝司

#### ◆第IV章 口腔顔面痛 トピックス

- 37 下歯槽神経損傷予防 栗田賢一・小原圭太郎  
38 インプラント治療後の感覚麻痺、痛みが残る 佐久間泰司  
39 帯状疱疹の痛み 椎葉俊司

#### ◆第V章 歯科の痛みの特性

- 46 象牙質知覚過敏の本態 佐藤 仁  
47 痛みの薬物療法① 西須大徳  
48 痛みの薬物療法② 佐藤 仁

取扱店

Dd株式会社 デンタルダイヤモンド社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14-13 錦町デンタルビル  
TEL 03-3219-2571(代) / FAX 03-3219-0707

DD homepage URL

<http://www.dental-diamond.co.jp/>